



言語という環境 母語以外で表現するということ

企画:日本ペンクラブ獄中作家・人権委員会

9月28日(火) | 10:00—12:00

京王プラザホテル(新宿) 南館4F「扇」

JR新宿駅西口下車徒歩5分 / 京王線・小田急線・地下鉄(東京メトロ丸の内線・都営新宿線)
新宿駅下車徒歩5分 / 都営大江戸線都庁前駅B1出口すぐ

入場無料
開場30分前

概要

母語以外の言語で、書くこと。書かざるを得ない状況。また、自分から選び取った母語以外の言語。獲得した新しい言葉で書く、生きること。あるいは、逆に、母語で書きながら、母語外の読者に向けて、書くこと。母語ともうひとつ、ふたつ、の言語の間を、行ったり来たりすること。ポスト・コロニアルな世界では、母語に関するさまざまな状況が日々、複雑に、生まれている。台湾の原住民作家として、とびうお漁で生きるランユー島のタオ族とし

て、中国語で書くシャマン・ラポガン、天安門事件を契機に香港、そしてイギリスに渡り、母語の中国語で書き続けながら、国内では発禁の状況が続き、常に、翻訳出版により国外の読者に向けて書く馬建、アメリカ出身でありながら日本語で作品を発表し続け、中国語世界にも幾度も旅を続けるリービ英雄に、中国語という共通項を中心に、母語以外の言語で創作することの意味を語ってもらう。

出演

リービ英雄 Hideo Levy

西洋出身者としては初めての現代日本文学作家。1950年、アメリカ生まれ。幼少時は台湾と香港に住む。その後再びアメリカを経由し、1967年にはじめて日本に移り住む。日米往還を繰り返し、その間プリンストン大学大学院博士課程修了、プリンストン大学、スタンフォード大学で日本文学を講ずる。1982年、「万葉集」の英訳により全米図書賞を受賞。スタンフォード大学の教授職を40歳直前に辞して、東京に定住。以降、日本語による作家として活躍。1992年、アメリカ人の家出少年をあつかった「星条旗の聞こえない部屋」でデビュー、同作で第14回野間文芸新人賞を受賞。また1996年刊行の「天安門」は、終戦から半世紀ぶりに中国大陸を同時代的に描いた日本文学として話題をよんだ。他の作品に「日本語を書く部屋」「我的中国」「英語でよむ万葉集」(以上、岩波書店)、「国民のうた」「ヘンリーだけはレウィツキーの夏の紀行」「千々にくだけて」(第32回大佛次郎賞)などがある。



提供:朝日新聞社

馬建 Ma Jian

1953年、青島生まれ。いろいろな職業を転々とし、30歳のとき、3年かけて中国国内を流浪し「RED DUST」を書いた。1987年、彼の著作が禁書になるとともに、香港に脱出、そこで、10年暮らす。後に、この作品で、2002年トマス・クック旅行文学賞を得る。以降、ロンドンに。「The noodle maker」をはじめ、多くの著作が、英語を中心に12ヶ国語に訳される。2008年に書かれた天安門事件を扱った「Beijing Coma」は英語圏で複数の賞を得た。中国語で執筆するが、中国大陸では、出版は許されていない。



シャマン・ラポガン Syaman Rapongan

1957年、蘭嶼島(台東県蘭嶼郷)紅頭村生まれ。漢名は施努来。1973年に蘭嶼国民中学を卒業、台東高級中学に進学するために蘭嶼を離れた。高級中学卒業後は、原住民族子弟枠での大学推薦入学を辞退し、1980年に淡江大学フランス語科に入学した。とびうお漁で生活するタオ(ヤミ)族という原住民の出身。中国語で創作するが、台湾本島での暮らしのなかで、タオ族としてのアイデンティティーを模索し、現在は、故郷に戻り、タオ語の保存にも取り組む。代表作:『冷海情深』『黒色の翅膀』(邦訳『黒い胸びれ』、草風館)『海浪の記憶』など。



茅野裕城子 Yukiko Chino (司会)

東京生まれ、青山学院フランス文学科卒。着物モデル、女優、創刊時「OLIVE」「翼の王国」などの記者をしつつ世界を巡る。90年代、北京に留学。中国語を学び、作家たちと交流する。95年「韓素音の月」(集英社)ですばる文学賞。「西安の石榴」「大陸遊民(集英社)など、現代日中間の誤解を描く。他に、バービー人形のエスノロジー「バービー・ファッション50年史」(扶桑社)、また、文革グッズ、40年代チャイナドレスの展覧会など。中、韓、台湾をはじめ、アジア作家たちとの交流を十年以上続け、北欧、アフリカ、アメリカ等、日本ペンをはじめとする作家会議にも、多数参加。



事前登録票

インターネット登録が便利です。「日本ペンクラブ」を検索し、該当項目から事前登録画面を開けます。

<http://www.japanpen.or.jp/convention2010/>

ファックスの場合は、末尾にお名前とご連絡先のFAX番号等をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX 03-3508-1710 ※FAXによる申込期限:9月15日(水)

※プログラムごとに事前登録された方が優先です。登録希望者多数の場合は申込み順となります。定員に限りがありますので、確実にご入場いただくために、事前登録をおすすめいたします。
※ご友人・家族などと一緒にファックス登録される場合は、この面をコピーし、お一人ずつご登録ください。

フリガナ					
お名前	TEL	-	-	FAX	-